

C帯固体化MPレーダ (株)東芝小向事業所



■ 製品・技術等の概要

マルチパラメーター観測技術や送信部の固体化技術などを駆使し、降水現象測定の高精度化、大幅な小型・軽量化を実現した気象レーダ

■ 先進性・独自性等

送信デバイスの固体化（電子管⇒半導体）により、送信装置の小型化（従来の1/3）、長寿命化、及び省電力化（従来から33%削減）を実現

■ 域外貢献量の算定時に比較した製品・技術等

前機種的气象レーダ（クライストロン：電子管）システム

■ 算定条件（機能単位）

15年間、24時間、365日の気象状況の観測

■ 域外貢献量

5. $59 \times 10^2 \text{ t-CO}_2$ （CO₂換算）（製品使用年数15年間）

■ 機能単位あたりのライフサイクルCO₂削減量

2. $82 \times 10^2 \text{ t-CO}_2$ （CO₂換算）